



CEATEC 2025

海洋デジタル社会パビリオン 実施報告書

CEATEC全体

CEATEC 2025 開催概要

名 称:CEATEC 2025（シーテック2025）

開催テーマ: Innovation for All

開 催 趣 旨: 経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く

会 期: 2025年10月14日(火)～17日(金) 10:00～17:00

会 場: 幕張メッセ

入 場: 無料（全来場者登録入場制）

主 催: 一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

共 催: 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ）

後 援

総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、デジタル庁（以上、建制順）

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）、独立行政法人中小企業基盤整備機構、千葉県、千葉市、日本放送協会（NHK）、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本自動車工業会、日本商工会議所、東京商工会議所、千葉商工会議所、

カナダ共和国大使館オンタリオ州政府、一般財団法人 日欧産業協力センター、駐日ラトビア共和国大使館、在日ウクライナ大使館、駐日ウズベキスタン共和国大使館



CEATEC 2025 総括

◆AIからAXに大きく進化

- ・AIエージェント元年といわれる本年は関連技術やサービスが集結
- ・未来の豊な暮らしと社会課題解決への提案が充実
- ・体験型AIが増加し、機能と役割が鮮明に

AX (AI Transformation)



◆出展者数は昨年実績の横ばいで推移

- ・企画展示では新規出展者増加
- ・ネクストゼネレーションパークは昨年比23%増を記録
- ・グローバルパークは関西万博の影響等で限られた国に留まった

◆コンファレンスはステージを合わせ222セッション

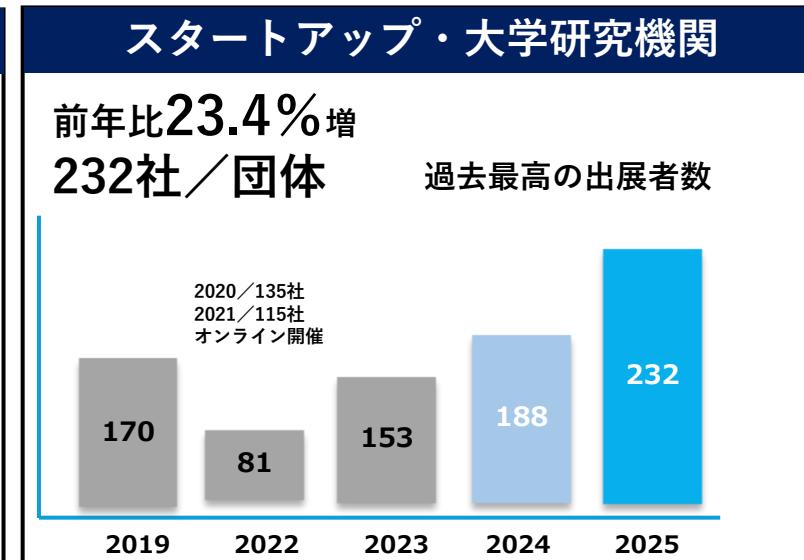
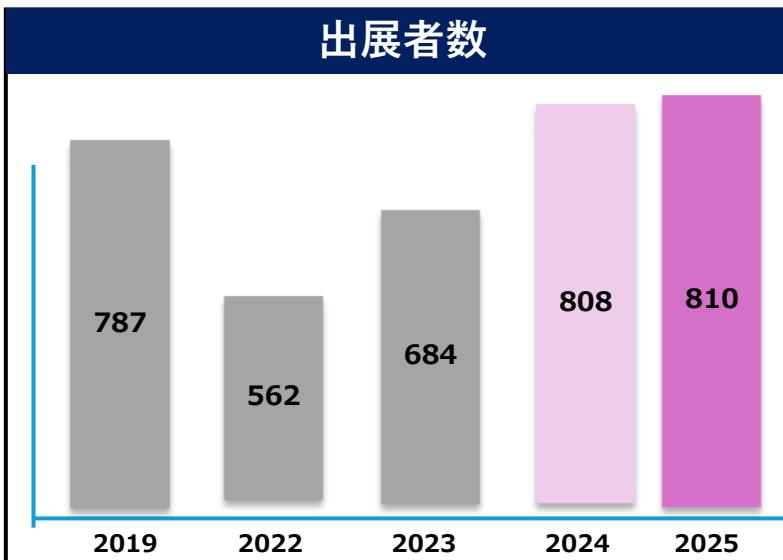
- ・初日のAIセッションを皮切りにAIの関連セッションは多くの関係者が聴講
- ・スタートアップを中心にピッチイベントが充実
- ・ビックイベントをテーマとしたセッションは東京五輪以来の開催
「関西万博レガシー」

◆内閣総理大臣、閣僚の視察が実現

- ・CEATEC開催以来、初の総理大臣視察が実現

CEATEC 2025 報告

来場者数				
合計：98,884名				
	2023	2024	2025	前年比
1日目	20,505	21,397	20,474	95.7%
2日目	20,301	26,144	23,433	89.6%
3日目	22,666	29,589	24,601	83.1%
4日目	25,575	34,884	30,376	87.1%
合計	89,047	112,014	98,884	88.2%



主なVIP会場視察（開催日程順）

10月14日
古川直季 総務大臣政務官
セシリ亞・ボーンフェルド・ダールデジタルヨーロッパ事務局長
阿達雅志総務副大臣
川崎ひでと総務大臣政務官
山際大志郎 衆議院議員
経済産業省 野原倫 商務情報政策局長

10月15日
総務省 湯本博信 総合通信基盤局長
平将明 デジタル大臣
経済産業省 菊川人吾 イノベーション・環境局長
総務省 大村真一官房総括審議官

10月15日
公明党 井上義久常任顧問
西田英範 衆議院議員
10月16日
総務省 竹村晃一 総務審議官
総務省 布施田英生 國際戦略局長
ウズベキスタン
カリムジャノフ・ルスタム デジタル技術省副大臣
アブドゥラフモノフ・ムフシンフジャ大使
内閣府瀬戸隆一 副大臣
石田真敏 衆議院議員
総務省 豊嶋基暢 情報流通行政局長

10月16日
石破茂 内閣総理大臣
10月17日
滝波宏文 農水副大臣
西村康稔 衆議院議員
大空こうき 衆議院議員
総務省今川拓郎 総務審議官
ズィグマールス・ズィルガルヴィス駐日ラトビア共和国大使
※赤文字は、海洋デジタルパビリオンに訪れたVIP

CEATEC 2025 報告

国内新聞

掲載数：299件 (2024年:242件 ※同一条件でリサーチした結果による)

主要紙の記事見出し

- 「自律型AI、暮らしの相棒 CEATEC開幕」（日本経済新聞）
- 「豊かな未来へ 身近な新技術 シーテック 幕張で開幕」（読売新聞）
- 「続々 お仕事お助けAI 先端技術の見本市「シーテック」開幕」（朝日新聞）
- 「6G時代見据え競演 IT展示会 シーテック開幕 五感伝える新技術相次ぐ」（産経新聞）
- 「最新AI展示会 開幕 シーテック 新興・大学機関最多」（毎日新聞）
- 「先端技術ずらり シーテック開幕 主戦場はAI／世界への発信力課題」（東京新聞）

国内テレビ

放映/放送：47番組 2時間26分54秒

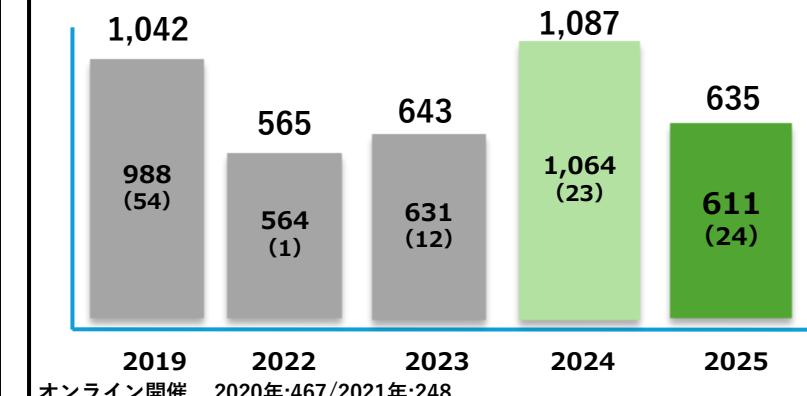
(2024年：39番組 2時間29分39秒)

主なテレビ放映実績（カッコ内はCEATEC放映時間）

- ワールドビジネスサテライト（テレビ東京）10月13日 22:00-22:58 (6'22)
- Nスタ（TBS） 10月13日 15:49-18:30 (3'07)
- ニュースウォッチ9（NHK） 10月14日 21:00-22:00 (5'53)
- おはよう日本（NHK） 10月15日 05:00-08:00 (1'18)
- ZIP！（日本テレビ） 10月15日 05:50-09:00 (6'39)
- グッド！モーニング（テレビ朝日） 10月15日 04:55-08:00 (3'47)
- めざましテレビ（フジテレビ） 10月15日 05:25-08:14 (2'02)

プレス来場実績

※グラフ内は国内外の内訳（カッコ内は海外）



2025年活動内容

- ・8月22日：広報担当者説明会（オンライン）
- ・9月11日：報道関係者説明会＆出展者広報担当者交流会
- ・10月7日：記者会見・CEATEC AWARD 2025 Select Collections（先行展示取材）
 - ・主催関係者/企画展示参画企業のインタビュー（メディアパートナー各社などによる）
 - ・個別記者/媒体レク（全国紙、テレビ局などの主要媒体全般）
 - ・プレスリリース、オウンドメディア（Ceatec experience）
 - ・海外メディア向けアプローチ

大阪・関西万博レガシーセッション



日時：10月17日（金）15:00～16:45

場所：国際会議場2階コンベンションホールB

第一部 登壇者：大阪府 吉村洋文 氏

第二部 登壇者：・大阪府 吉村洋文 氏

- ・公益社団法人 2025年
日本国際博覧会協会 持続可能性局長 永見 靖 氏
- ・大阪市高速電気軌道（株）
代表取締役社長 河井英明氏
- ・大阪商工会議所 副会頭 廣瀬 恭子氏
- ・BIPROGY（株）事業開発本部 事業推進三部長
三宅 裕昭 氏

モデレータ ・キャスター 榎戸教子 氏



オープニングレセプション

開催概要

日 時：2025年10月14日（火）18:30～20:30

場 所：パレスホテル東京／東京都千代田区丸の内1-1-1

参 加：出展企業経営幹部/後援団体幹部/大使館関係者/プレス等
約700名

次第	
開会	オープニングビデオ
司 会	佐久間あすか 氏
主催者挨拶	一般社団法人 電子情報技術産業協会 漆間 啓 会長
来賓祝辞	石破 茂 内閣総理大臣 ビデオメッセージ
来賓祝辞/表彰	平 将明 デジタル大臣／CEATEC AWARD大臣賞表彰
来賓祝辞/表彰	古賀友一郎 経済産業副大臣／CEATEC AWARD大臣賞表彰
来賓祝辞/表彰	川崎ひでと 総務大臣政務官／CEATEC AWARD大臣賞表彰
フォトセッション	デジタル大臣・経済産業副大臣・総務大臣政務官 経団連審議委員会副議長・JEITA会長・CIAJ会長・SAJ会長
来賓祝辞/乾杯	一般社団法人 日本経済団体連合会 東原敏昭 審議委員会副議長
ご歓談	



石破 茂 内閣総理大臣 ご視察

10月16日（木）10:20～11:30



NECブース



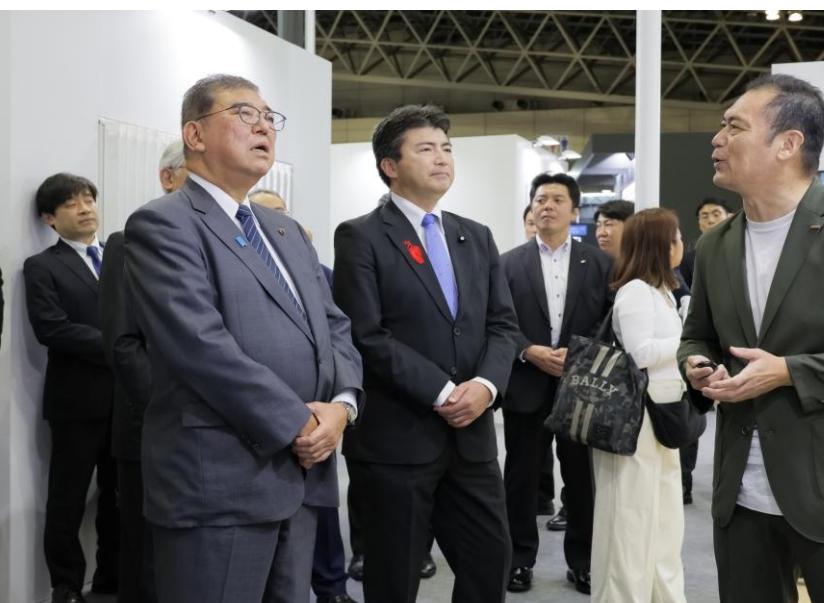
地方創生2.0 仙台市・NTT東日本



地方創生伴走支援チーム = 「触媒」。
地方創生支援官と拓く市町村のこれから



ユカイ工学ブース



NTTドコモブース



記者會見

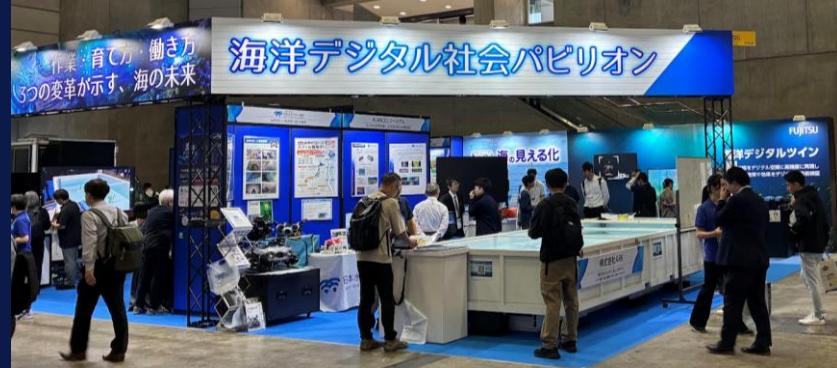
9

海洋デジタル社会パビリオン

海洋デジタル社会パビリオン開催概要

◆開催趣旨

デジタル技術の進化により、海洋産業は新たな可能性を広げている。AIやIoT、ビッグデータを活用することで、環境問題や食料自給率向上といった海洋が抱える課題解決が期待され、次世代を担う人材育成の重要性も高まっている。「海洋デジタル社会パビリオン」では、Society 5.0の理念を基に、先端技術を通じた海洋産業の未来像を描く。今後の市場活性化に向け、海洋業界に留まらず、IT・エレクトロニクス業界との垣根を越えた共創・連携を促す



◆目的

海洋産業の未来を発信／次世代人材や組織の参画促進

◆主催：一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

◆後援：内閣府総合海洋政策推進事務局、水産庁

主な募集 テーマ



海洋デジタル社会パビリオン 出展概要

◆パビリオン全体のテーマ

「作業」「育て方」「働き方」3つの変革で切り拓く、海洋産業の未来

◆参考：9/11 プレスリリース 出展者の詳細な取組

https://www.ceatec.com/download/ja/JEITA_PressRelease_CEATEC_2025_Ocean.pdf

出展者	出展テーマ	作業	育て方	働き方
ALANコンソーシアム	光」で水中世界を快適に、水中光技術で新たな市場を開拓	○		
ビフレステック株式会社	海洋他での長距離光無線通信を実現する極微少光量通信技術	○		
富士通株式会社	AI と海洋生態学との融合によりネットポジティブを実現する海洋デジタルツイン	○		○
一般社団法人 日本水中ドローン協会	水中ドローン利活用に向けた普及	○		○
株式会社アイエスイー	IoT 技術で「海の見える化」水産業の省力化とスマート化を支援	○	○	○
国土交通省 総合政策局 海洋政策課	海の次世代モビリティの活用促進に向けた国土交通省の取り組み	○		○
株式会社ARK	「海を休ませるために、陸上に海をつくる」どこでもだれでも陸上養殖ができる仕組と文化をつくる	○	○	○
ながさき BLUE エコノミー（長崎大学）	養殖 DX の推進により、若者が集まり活気づく海と生きる地域社会の実現	○	○	○
おさかなだお長崎（DAO）	「長崎のうまいサカナの未来を作る」をテーマに活動する。DAO。昨年に続き、ユニークな活動を紹介します。			○
合同会社ニート	長崎の魚の頭やアラなど、廃棄されてたりあまり食べる印象のなかつたりした部位をカレーにするプロジェクト			○
琉球大学	環境にも配慮した持続性と事業性のあるサーキュラーエコノミー陸上養殖の研究開発	○	○	○
北海道大学水産学部	水産・海洋の実践的な教育を広める—大学・企業・若者の連携—			○

海洋デジタル社会パビリオン 総括

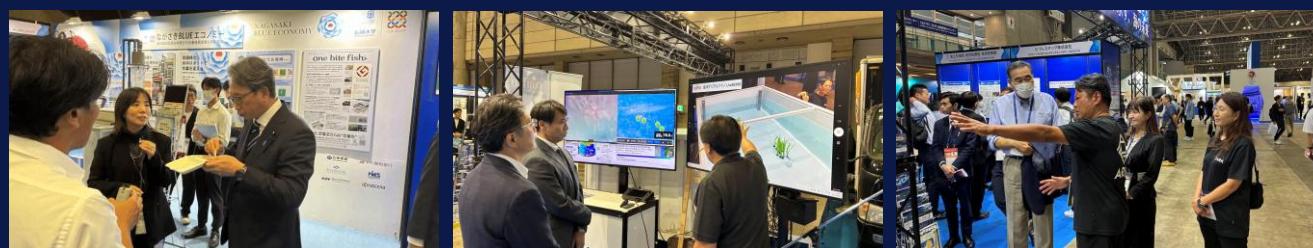
◆獲得リード数 3,100件超を達成

- ・約200m²の12者の出展者から、作業、育て方、働き方に関する取組を紹介
- ・体験を意識した展示とコンファレンスを連携させ効果的な情報発信を実施
- ・エシカルなお魚カレーを食べながら考える場に



◆メディア・VIPの方が多数訪問

- ・デジタル大臣、農林水産副大臣、各企業の役員など多くのVIPが訪問
- ・記者によるイベントレポートの記事化
- ・台湾がパビリオン視察、欧州含めた13カ国の方が来場



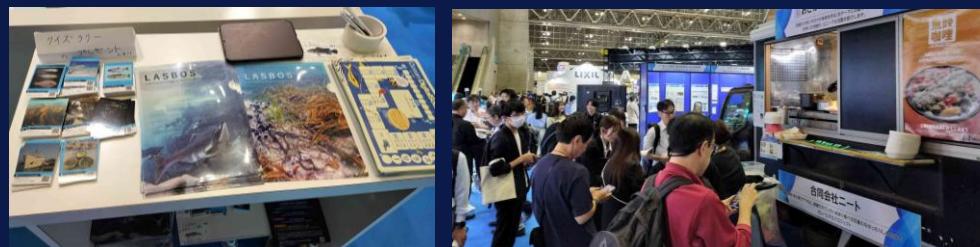
◆合計300人以上が聴講した特別セッション

- ・作業、育て方、働き方をそれぞれ推進するキーパーソンによる登壇者にて議論
- ・満足度は9割を超え、参加者と考える場に
- ・海洋が関係しない事業者からも、多数の期待する声



◆200名以上が参加したスタンプラリー

- ・DAOと連携した周遊策によって、出展者全体を回る施策を実施
- ・賞品は、各出展者からの協賛で本、カレー、パンフレットを提供



パビリオンの出展者メディア掲載

■参考記事

11/18_CEATEC 2025 海洋デジタル社会パビリオンにて海洋産業の未来をアピール(JEITAだより)
<https://www.jeita.or.jp/japanese/assets/pdf/letter/vol55/09.pdf>

10/30_海洋分析のDX・AI活用に活路、水中ドローンで漁場予測も(alterna)
<https://www.alterna.co.jp/163060/>

10/22_濁った海中でもレーザーで照らす 鉱物資源探索などに期待、JAMSTEC(日本経済新聞)
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOSG1421U0U5A810C2000000/>

10/18_水中ドローンの操縦体験から魚の出汁のカレーまで食べられる「海洋デジタル社会パビリオン」(インプレイス)
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/2055377.html>

10/6_海が「デジタル化」した未来はどうなる?「廉価な水中ドローン」「魚の健康診断」「週休2日」の先に目指すものとは?(インプレイス)
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/interview/2050182.html>

9/11_CEATEC 2025 にて「海洋デジタル社会パビリオン」を展開 「作業」「育て方」「働き方」の変革で、持続可能な海洋産業の共創成果を発表(JEITAプレスリリース)
https://www.ceatec.com/download/ja/JEITA_PressRelease_CEATEC_2025_Ocean.pdf

4/14_CEATEC 2025 にて「海洋デジタル社会パビリオン」を展開
地域共創による水産業の活性化等の取り組みを発信
<https://www.jeita.or.jp/japanese/topics/2025/0414.pdf>

全体の来場者分析

カテゴリ	サブカテゴリ	主要参加組織（抜粋）
【産】民間企業	電機・IT・通信	日立製作所、三菱電機、NEC、富士通、ソニーグループ、シャープ、NTTグループ、KDDI、ソフトバンク
	デバイス・計測	村田製作所、TDK、京セラ、アンリツ、日本無線、古野電気、太陽誘電、アルプスアルパイン
	重工・機械・自動車	三菱重工業、川崎重工業、IHI、小松製作所、トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、デンソー
	建設・インフラ・水産	清水建設、鹿島建設、大林組、東洋建設、日揮、東京電力HD、関西電力送配電、ニチモウ、日本海洋事業、ニッスイ
【官】公的機関	中央省庁	総務省、経済産業省、国土交通省、農林水産省（水産庁）、防衛省、内閣府、デジタル庁
	研究・独法・自治体	NICT、NEDO、AIST（産総研）、JAXA、JAMSTEC、IPA、JETRO、東京都、千葉県、静岡県、福岡市等
【学】教育機関	大学・大学院	東京大学、北海道大学、東北大学、東京科学大学、長崎大学、琉球大学、東京海洋大学、千葉工業大学、慶應義塾大学
	高専・専門・高校	仙台高専、日本工学院、国際理工カレッジ、横浜サイエンスフロンティア高校、千葉県立京葉工業高校等

1. 「海×テクノロジー」へのクロスインダストリーな参入

- ・傾向: 従来の水産・海運企業だけでなく、通信キャリア、総合電機、自動車メーカー、ゼネコンの参加が多数。
- ・分析: 自動運転、水中通信、デジタルツイン、再生可能エネルギー（洋上風力）など、自社技術の「海洋転用」や「新市場開拓」の場としてパビリオンが機能

2. 政策実装に向けた「官」の関心

- ・傾向: 総務省、経産省、国交省、防衛省など幅広い省庁から、政策立案・技術調査担当者が来場。
- ・分析: 経済安全保障やカーボンニュートラル、地方創生の文脈で「海洋」が重要視されており、社会実装に向けた官民対話のハブとして機能

3. 次世代人材（学生・教育機関）の高い注目度

- ・傾向: 大学の研究室単位だけでなく、専門学校生や工業高校生の団体参加、熱心な質問が見られた。
- ・分析: 「海洋×デジタル」が新しいキャリアパスや研究テーマとして認識され始めており、将来の担い手育成・採用ブランディングの場として機能

4. グローバル連携の可能性

- ・傾向: 台湾の研究機関がパビリオンの視察や欧州大使館関係者の参加を確認。
- ・分析: 海洋課題は国境を越えるため、今後はグローバルな技術標準化や連携への発展が期待される。

出展者アンケート

今回のパビリオンの企画・運営・サービスについて良かった点はございますか？

人を集めるという事に対してプランを練って頂いたというのが非常に感じられました。離れた場所からでも匂いによって集客を呼び込むというのにカレーはベストなチョイスだったと思います。

集客力が予想以上でしたので、非常に良い機会となりました。ご運営の方々の努力の結果であると思うので、本当にありがとうございました！懇親会があったのも最高でした。

企画段階から運営スタッフの方々のサポートが行き届いており、大変助かりました。「海洋デジタル社会」というテーマが明確で、来場者の関心が高く、**観測機器を効果的に紹介することができました**

来場者が触って確かめられる展示が多かったので良かった。

運営サイドが細やかな対応をされていてとても良かったと思います。展示も堅苦しさのない来場者にとって負担が少ない形式になっていたと思います。

今回のパビリオンの企画・運営・サービスについて改善点や希望はございますか？

水槽の中が見えるような天板ミラーがあると尚いいかも、と思いました。表の方の水槽で何やっているの？と聞かれることが結構あったので、解説などあったほうが良いかもと思いました。

プレゼンテーションは案内掲示やタイムスケジュールの周知をさらに強化していただけるとありがたいです。また、**交流会の開催は期間中に複数回実施**していただきたいです。

もし次回などがあるならキッチンカーを通路側に設置いただき、待ち時間の間にパビリオン回遊を促すなどの寄せ的な利用もご検討をいただけますと幸いです。

人気のブースでは説明員が不足するようで、説明を受けるまでに待ち時間が多くかかってしまったのは残念でした。

海洋デジタル社会に関連する企業をもう少し幅広く取り込んで出資いただければ運営的に良かったのではないかでしょうか。

今後の海洋・水産産業活性化に繋がる来場者からの意見はございましたか？それはどんなものでしたでしょうか？

価格単価の上昇に向け、プランディングの重要性

弊社の製品が漁業者向けだったこともあるってか、直接弊社と繋がるようなものは少ないように感じました。しかし、黒潮を使った発電の構想など、興味深い意見を聞く機会がありました。

来れなかった知り合いからアーカイブがあればいいのにという意見がきました

来場者の方々からは、データのリアルタイム化や長期的なモニタリングの重要性について多くのご意見をいただきました。特に、機器を活用したデータの共有・分析によって、漁業や環境保全の現場における効率化の向上に期待する声が多く寄せられました。また、**観測機器のメンテナンス性やコスト削減への関心も高く、今後の海洋・水産業のDX推進に向けたニーズの高さを改めて感じました。**

今回のキッチンカーがきっかけに**さまざまな海洋イベントからお声をいただけて**、出店ができる可能性が見えてきました。食を通じてきっかけの一つになれたらと思いました。

新しい気付きはございましたか？／またはこんな連携が図れるのでは？というアイディアなどもお待ちしています。

ちらほらと、漁業と関係ない環境観測の話があったので、漁業向け以外にも弊社の観測装置は使えるのではないか、と感じました。

養殖関係の人たちがいたかわからぬのですが、**養殖事業者と技術の会社のマッチング機会があれば嬉しいな**と思いました。

多くの来場者や他出展者の方々との対話を通じて、**海洋観測データの利活用が水産業のみならず、他の分野にも応用できる可能性を改めて実感**いたしました。リアルタイムデータの共有が、自治体や研究機関との連携、さらには地域全体の海洋環境モニタリング体制の強化にもつながるのではないかと感じました。今後は、産・学・官が連携し、データを通じて持続可能な海洋利用を推進していくための仕組みづくりに貢献していきたいです

Sonyの展示にWebサービスで3次元の点群データを共有するシステムがありました、昨年同社の展示の立体表示モニターを組み合わせることでデジタルツインが利用しやすくなると思いました。

その他、全体を通してご意見やご感想ありましたらご回答ください

引き続き、最新の情報の共有、把握、ネットワーキングの機会提供の場としていただきたい。

とても有意義な機会をありがとうございました！楽しい時間でした。

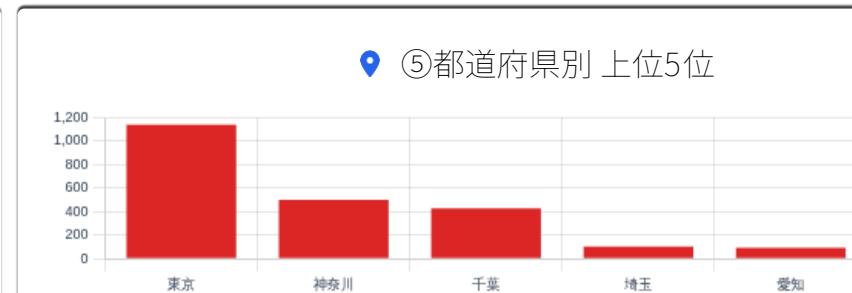
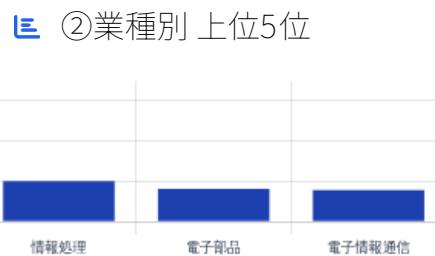
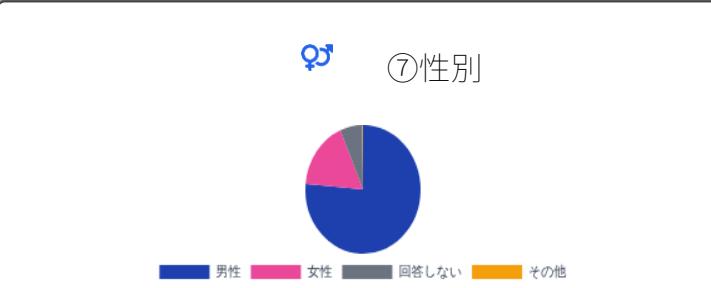
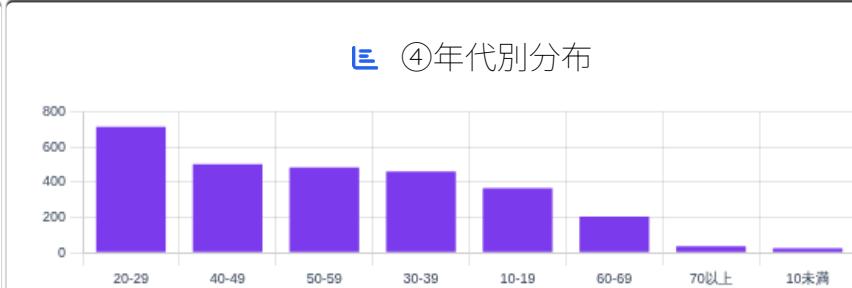
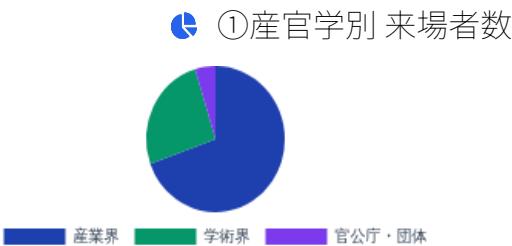
海洋DXパビリオン全体として非常に意義のある企画であり、出展を通じて多くの方々と貴重な交流を持つことができました。スタッフの皆様の丁寧なご対応や、円滑な運営にも心より感謝申し上げます。今後もこうした取り組みを通じて、**海洋・水産分野のDX推進や産官学連携の輪がさらに広がっていくことを期待**しております。

とてもいい経験ができました。もう少しパビリオンの方と連携が取れた内容が提供できればと思ったので、来年はブースの方ともコミュニケーションをとって運営ができればと思いました。

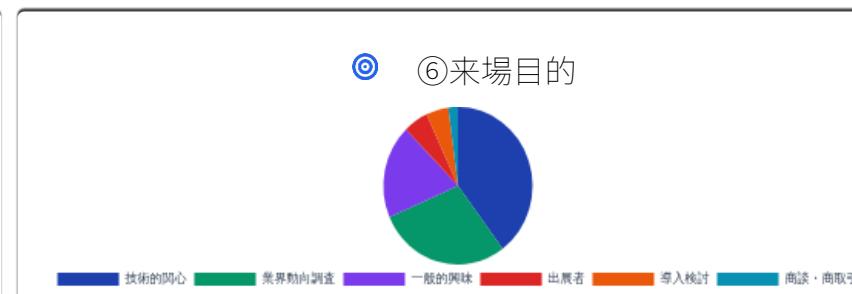
会場内に休憩用のベンチやテーブルを設置していただき、大変便利に利用させていただきました。

これまで、本学が出展していた**シーフードショーやバイオ系の展示会と異なる分野の来場者と接する貴重な機会**だと感じています。来年度もよろしくお願いします。

パビリオンへの来場者分析 (2,792名)



- ⑧全体の特徴
- 若年層中心：20代が25.6%で最も多い
 - 製造業重視：学生を除くと製造業が最多
 - 技術志向：研究開発職が17.4%を占める
 - 首都圏集中：東京・神奈川・千葉で73.5%



特別セッション



CEATEC
Innovation for All
2025

海洋デジタル社会パビリオン特別セッション

海洋AI

海の見える化から始まる
海洋イノベーションの潮流



竹縄 知之 氏
東京海洋大学
流通情報工学部門・教授



山田 亜紀子 氏
富士通株式会社
コンバージングテクノロジー
研究所・所長



仲田 真輝 氏
NeuralX Inc.
創業者兼社長



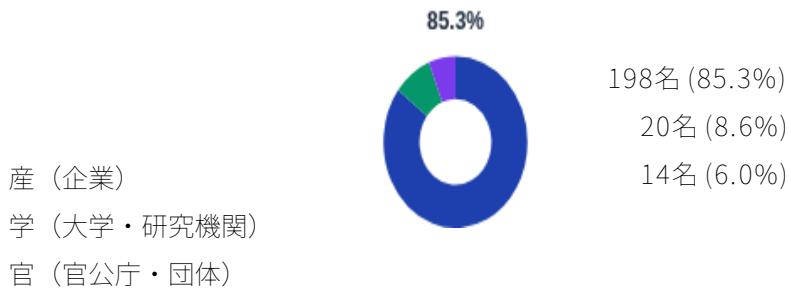
モデレーター

征矢野 清 氏
長崎大学
海洋未来イノベーション機構長

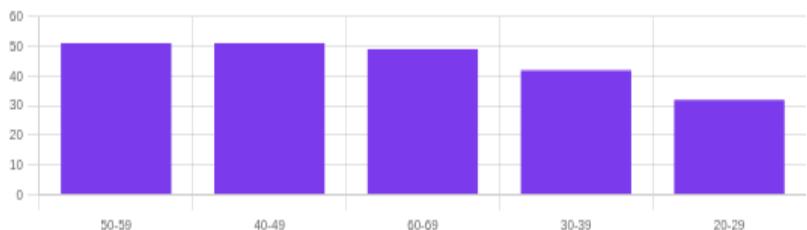
10/16木 15:00-16:00 幕張メッセコンベンションホール

特別セッションへの聴講者分析（232名）

①産官学別来場者数



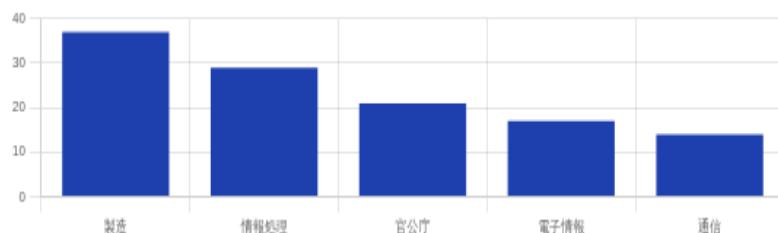
④年代別分布



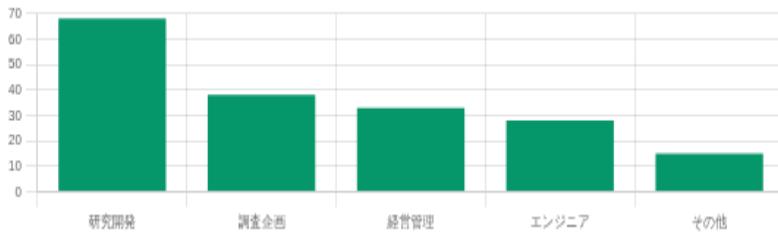
⑦性別



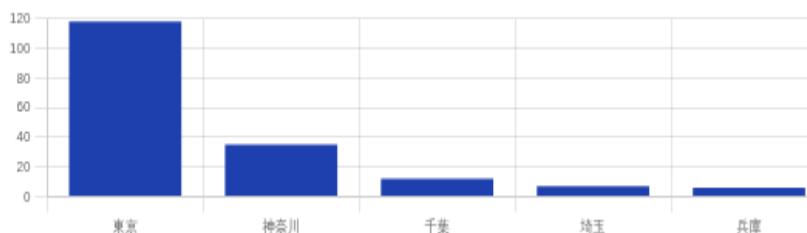
②業種別上位5位



③職種別上位5位



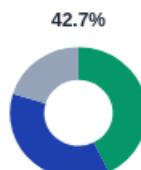
⑤都道府県別上位5位



⑧全体の特徴

- 👤 シニア層中心 (40-60代65%)
- 💻 研究開発職29.3%
- ⚡ 業界動向調査42.7%

⑥来場目的



特別セッションへの聴講者分析（232名）

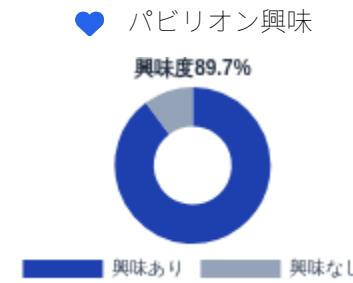
😊 満足度

満足度94.9%



❤️ パビリオン興味

興味度89.7%



🔊 情報源



💬 主なコメント

- ・海の中のことやり甲斐がある
- ・技術的に興味深い内容だった
- ・今後の展開に期待
- ・海洋産業の最新動向が理解できた
- ・他社との交流機会になった
- ・実務に活かせる情報が得られた
- ・もっと技術的な詳細を聞きたかった
- ・次回も参加したい

ALANフォーラム

海と未来をつなぐ！

海洋DX時代の 新しい通信技術

2025.10.14(火) 12:30-13:10 会場：Tステージ

島田 雄史 氏
アクアジャスト株式会社
代表取締役 CEO
ALANコンソーシアム代表

塙 雅典 氏
国立大学法人 山梨大学
総合研究部 教授

石橋 正二郎 氏
(国研)海洋研究開発機構
技術研究開発部門 主任研究員

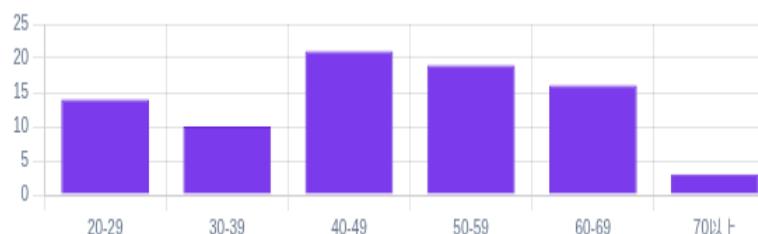


ALANフォーラムへの聴講者分析（88名）

① 産官学別



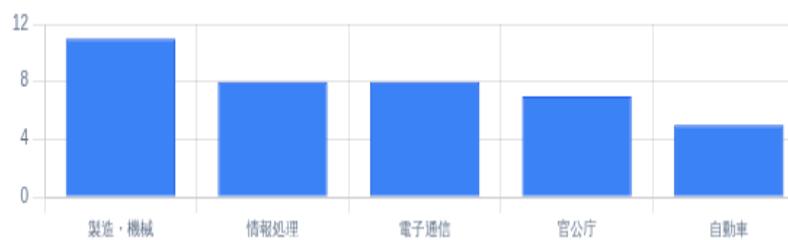
④ 年代別分布



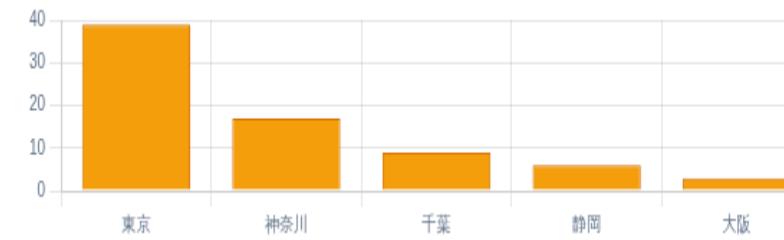
⑦ 性別



② 業種別 上位5位



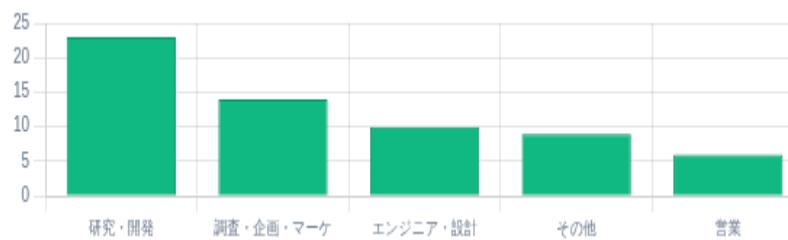
⑤ 都道府県別 上位5位



⑧ 全体の特徴

- ・技術志向の専門家が中心
- ・研究・開発職が26.1%と最も高い割合
- ・40～60代のベテラン層が中心（63.6%）
- ・技術的関心と業界動向調査が同率39.8%
- ・専門性の高いセッション

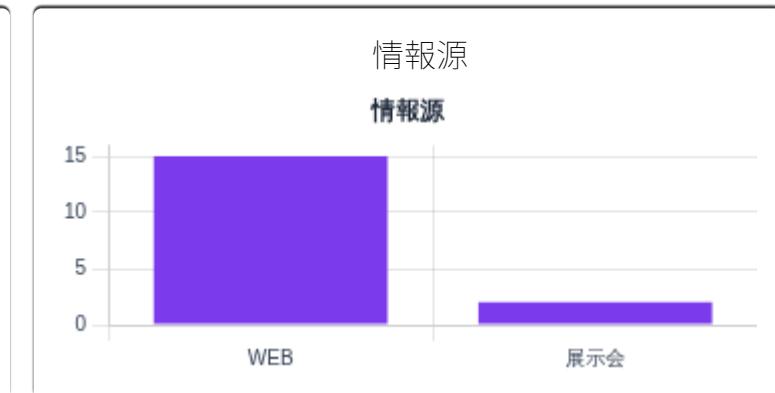
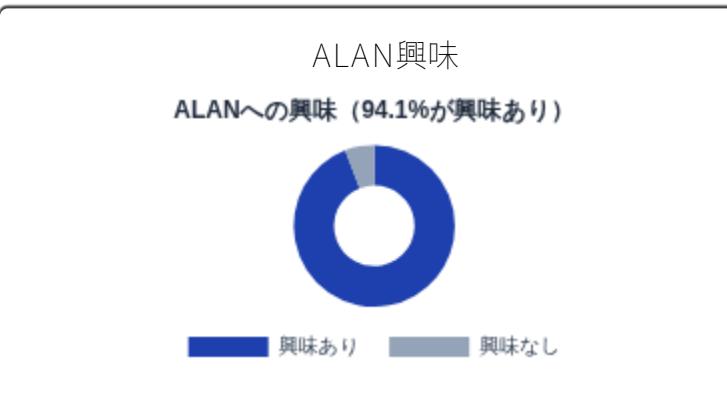
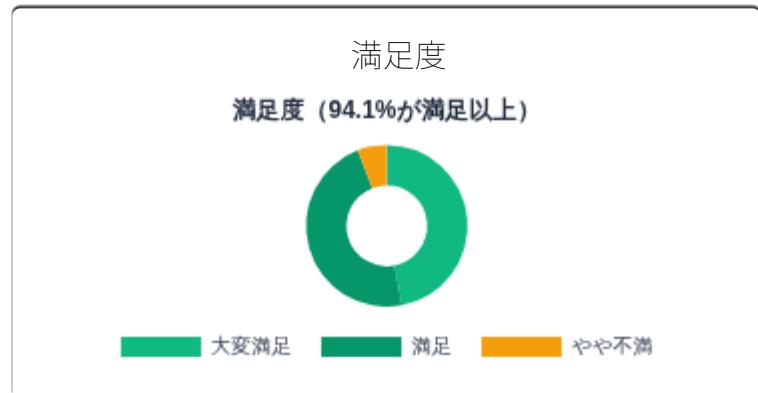
③ 職種別 上位5位



⑥ 来場目的



ALANフォーラムへの聴講者分析（88名）



⑦主なコメント

- “ 「海の中のことやり甲斐がある」
- “ 「無線通信に展開できる可能性」
- “ 「ALANの今後の活動に期待」
- “ 「水中通信技術の最新動向が理解できた」
- “ 「他社との情報交換ができた」
- “ 「実証実験の事例が参考になった」
- “ 「技術的な詳細をもっと深く知りたい」
- “ 「次回フォーラムにも参加したい」

参考：案内パネル、共同リーフレット

案内パネル



共同リーフレット

This collage includes several brochures from different exhibitors:

- DAO (おさかなだお長崎)**: Features a fish head curry dish and information about their project.
- 魚頭咖哩 (Fish Head Curry Project)**: Shows a close-up of the dish.
- CEATEC 2021**: A general overview of the exhibition.
- ALANコンシール**: Focuses on "海洋デジタル社会" (Digital Society of the Sea).
- BifrosTec**: Shows underwater scenes and information about their products.
- ALAN**: Details about their underwater robot services.
- FUJITSU**: Information about their underwater drone technology.
- ARK**: Details about their underwater robot system.
- 日本水中ドローン協会**: Information about the Japanese Underwater Drone Association.
- NAGASAKI BLUE ECONOMY**: Details about Nagasaki's blue economy.
- FLAME & GREEN REVOLUTION**: Information about their environmental initiatives.
- 国土交通省**: Details about the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism.
- アイエフイー**: Information about their services.
- おさかなだお長崎 (DAO)**: A logo featuring a fish and the text "おさかなだお長崎 (DAO) プロデュース".
- クイズラリー**: A quiz section with the text "すべてのブースの問題に回答した正解者には、豪華な景品が。" and "なくなり次第終了!".

海洋 デジタル社会 パビリオン

Ocean Digital Society Pavilion

海洋デジタル社会パビリオンに関する
お問い合わせはこちらまでお願いします

海洋デジタル社会パビリオン 運営事務局（一般社団法人 電子情報技術産業協会内）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル 4F

担当 : JEITA市場創生部 飯沼

E-mail : oceandx@jeita.or.jp